

杏林大学 医学部 眼科学教室 2015 年度業績集

1. 口演

- 1) Itoh Y, Levison LA, Kaiser PK, Singh RP, Srivastava SK, Ehlers JP: Characteristics of epiretinal proliferation: A distinguishing feature of lamellar macular holes. Association for Research in Vision and Ophthalmology, Denver, May, 2015.
- 2) 五月女典久, 北善幸, 堀江大介, 稲見達也, 平形明人:スペクトラルドメイン OCT を用いた黄斑部網膜外層厚測定における白内障の影響. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌市, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 3) 安藤良将, 渡辺敏樹, 慶野博, 富田茜, 平形明人:レーザースペックル法にて視神経乳頭部血流を観察できた抗 AQP4 抗体陽性視神経炎の1例. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌市, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 4) 慶野博, 渡辺交世, 中山真紀子, 岡田アナベルあやめ:罹病期間別でみたインフリキシマブ導入後のベーチエット病ぶどう膜炎の活動性評価. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌市, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 5) 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 中山真紀子, 小林宏明, 松本杏奈, 久須美有美, 佐野公彦, 北 善幸:治療歴のない滲出型 AMD に対する afibercept treat and extend 療法の治療反応. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌市, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 6) 小笠原雅, 山本亜希子, 古泉英貴, 板垣可奈子, 斎藤昌晃, 丸子一朗, 飯田知弘, 岡田アナベルあやめ, 石龍鉄樹:Aflibercept による滲出型加齢黄斑変性治療の予後予測因子. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌市, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 7) 慶野博:サブスペシャリティーサンデー ぶどう膜炎診療アップデート. ぶどう膜炎の眼底画像検査. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 8) 山田昌和:病態に基づく涙液関連疾患の治療. 教育セミナー, 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌, 2015 年 4 月 17 日.
- 9) 井上真:網膜の後ろの天の川. 第 45 回 RETINA の会, 札幌, 2015 年 4 月 18 日.
- 10) 山田昌和:成人眼科検診の医学的効果と費用対効果. シンポジウム, 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌, 2015 年 4 月 19 日.
- 11) 北 善幸, 北 律子, 安樂礼子:緑内障眼に対するスペクトラルドメイン OCT を用いた網膜外層厚測定の有用性. 第 119 回日本眼科学会総会, 札幌, 2015 年 4 月 16 日-19 日.
- 12) Inoue M:Reconsider core vitrectomy to enhance safety. 2015 Duke Advanced Vitrectomy Surgery Course, Durham, April 24, 2015.
- 13) Inoue M:Vitrectomy for myopic traction maculopathy. 2015 Duke Advanced Vitrectomy

Surgery Course, Durham, April 25, 2015.

- 14) Inoue M:How to handle flexible instruments. 2015 Duke Advanced Vitrectomy Surgery Course, Durham, April 25, 2015.
- 15) 津田麻祐子, 富田茜, 佐野公彦, 柳沼重晴, 平形明人:網膜血管腫の治療中に小脳病変を併発した von Hippel Lindau 病の一例. 第6回東京多摩眼科連携セミナー, 三鷹市, 2015 年 4 月 25 日.
- 16) Inoue M, Matsuki N, Itoh Y, Nagamoto T, Hirakata A:Higher-order aberrations of intraocular lens with intrascleral fixation. ARVO, Denver, May 3, 2015.
- 17) Ohzeki T, Hashizume K, Kiryu J, Yamada H, Inoue M, Kurosaka D:Evaluation of toric contact lenses for vitreous surgery in model eye inserted with a toric intraocular lens. ARVO, Denver, May 3, 2015.
- 18) Keino H, Watanabe T, Okada AA:Capability of vitreous fluid to enhance TGF-beta-induced Foxp3+ regulatory T cell conversion. Annual Meeting of the Association for Research in Vision and Ophthalmology, Denver, May 3–7, 2015.
- 19) Keino K:EDI-OCT of chronic and recurrent phases of VKH. The International Workshops on Granulomatous Uveitis and Ocular Behcet's Disease and the Asia-Pacific Intraocular Inflammation Study Group (APIISG) Meeting. Cebu, Philippines. May15–17.
- 20) 岡田アナベルあやめ:眼炎症疾患. 最近のトピックより. 第 69 回栃木県眼科集談会, 栃木県下野市, 2015 年 5 月 10 日.
- 21) 山田昌和:ドライアイが労働生産性に与える影響. 第 88 回日本産業衛生学会, 大阪, 2015 年 5 月 14 日.
- 22) 山田昌和:ドライアイ QOL を重視した治療戦略. 第 55 回神戸眼科臨床懇話会, 神戸, 2015 年 5 月 16 日.
- 23) 厚東 隆志:硝子体術後に消退しない糖尿病黄斑浮腫. 第 20 回東京黄斑疾患研究会, 東京, 2015 年 5 月 23 日.
- 24) 山本亜希子:Treat and extend はじめの一歩. 加齢黄斑変性治療の最前線, 札幌市, 2015 年 5 月 23 日.
- 25) 岡田アナベルあやめ:眼炎症のトピックス. 第 72 回富山眼科集談会, 富山市, 2015 年 5 月 24 日.
- 26) 山田昌和:クリニックベースのドライアイ実態調査. 第 9 回箱根ドライアイクラブ, 軽井沢, 2015 年 6 月 5 日.
- 27) 井上真:インドの眼科事情. 第 16 回信濃町網膜研究会, 東京, 2015 年 6 月 5 日.
- 28) 厚東隆志:Duke Advanced Vitreous Surgery Course 2015 報告記 plus 1. 第 16 回信濃町網

膜研究会, 東京, 2015 年 6 月 5 日.

- 29) 中山真紀子, 山本亜希子, 慶野博, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ:49 歳女性 右眼のゆがみ. 第 7 回 Eye Center Summit, 東京, 2015 年 6 月 6 日.
- 30) 松木奈央子:難症例の白内障手術. 第 7 回 Eye Center Summit, 東京, 2015 年 6 月 6 日.
- 31) 平形明人:網膜分離様所見の鑑別. 第 4 回 OCT 眼底読影勉強会, 東京, 2015 年 6 月 11 日.
- 32) Inoue M:Inverted ILM technique or scleral shortening for TRD or MHRD in highly myopic eyes. 2nd International Conference of Pathologic Myopia, Kyoto , June 19–20,2015.
- 33) 柳沼重晴, 松木奈央子, 渡辺交世, 永本敏之:角膜内皮細胞密度 1500 個/mm²以下の症例における白内障手術成績. 第 30 回JSCRS学術総会, 東京, 2015 年 6 月 19 日-21 日.
- 34) 山田昌和:角結膜疾患の診断と治療. 東京都眼科医会卒後研修会, 東京, 2015 年 6 月 20 日.
- 35) 山田昌和:ドライアイ QOL を重視した治療戦略. 多摩南部眼科講演会, 東京, 2015 年 6 月 20 日.
- 36) Hirakata A: Treatment for retinal angioma associated with von Hippel-Lindau. 2015 Tianjin International Ophthalmology Forum, 天津 中国, June 26th-28th, 2015.
- 37) Inoue M:Strategy to treat submacular hemorrhage. 2015 天津眼科国際学会第4回中日眼科学交流会, Teijing, June 26–27,2015.
- 38) 井上真:黄斑疾患. 硝子体ビデオセミナー, 東京, 2015 年 6 月 28 日.
- 39) 朝井知佳子, 小川佳子, 川島素子, 平塚義宗, 山田昌和:片眼視覚障害の疾病負担についての検討. 第 71 回日本弱視斜視学会, 神戸, 2015 年 7 月 3 日.
- 40) 井上裕子, 小川佳子, 勝田智子, 松屋清栄, 山田昌和:成人の外斜視再手術例の手術成績. 第 71 回日本弱視斜視学会, 神戸, 2015 年 7 月 3 日.
- 41) 富田茜, 鈴木由美, 満川忠宏, 吉川泉, 浜由起子, 富田香, 山田昌和:周期性外上斜視の成人例. 第 71 回日本弱視斜視学会, 神戸, 2015 年 7 月 3 日.
- 42) 井上真:(特別講演 1) OCT による黄斑疾患への治療戦略. 第 105 回香川県眼科集談会, 高松市, 2015 年 7 月 5 日.
- 43) 満川忠宏, 重安千花, 中島史絵, 藤井かんな, 山田昌和:初期治療が奏功しなかった感染性角膜炎の検討. 第 52 回日本眼感染症学会, 大阪, 2015 年 7 月 10 日.
- 44) 中村友子, 慶野博, 真鍋歩, 中山真紀子, 渡辺交世, 林篤志, 岡田アナベルあやめ:妊娠 16 週に発症しトリアムシノロンアセトニドテノン嚢下注射で治療した原田病の 1 例. 第 49 回日本眼炎症学会, 大阪, 2015 年 7 月 10 日.
- 45) 中山真紀子, 慶野博, 渡辺交世, 井上真, 岡田アナベルあやめ:硝子体手術後に発症した ANCA 陽性強膜炎の1例. 第 49 回日本眼炎症学会, 大阪, 2015 年 7 月 10 日.

- 46) 山田昌和:CL 装用ドライアイに対する治療法. 第 52 回日本眼感染症学会, 大阪, 2015 年 7 月 11 日.
- 47) 山田昌和:CL 装用による涙液・眼表面の変化. 第 58 回日本コンタクトレンズ学会, 大阪, 2015 年 7 月 11 日.
- 48) Hirakata A :Optic disc pit maculopathy : What Would Machemer Do? 40 Years of Evolution. American Society of Retina Specialists 33rd Annual Meeting, Duke Vitreoretinal Surgery Course at ASRS Vienna, Vienna, Austria, July 11th-14th, 2015.
- 49) Inoue M, Orihara T, Hiraoka T, Koto T, Hirakata A. Comparison of retinal detachment associated with atopic dermatitis with that with a blunt trauma. ASRS meeting Vienna, Austria, July 11th-14th, 2015.
- 50) Inoue M:Massive subretinal hemorrhage is one of major severe complication after age-related macular degeneration. ASRS Film festival Vienna, Austria, July 11th-14th, 2015.
- 51) Inoue M:Bimanual technique for severe proliferative diabetic retinopathy. ASRS 3D videos. Vienna, Austria, July 11th-14th, 2015.
- 52) 平形明人:糖尿病網膜症の病診連携. 城西臨床眼科シンポジウム, 東京, 2015 年 7 月 23 日.
- 53) Inoue M, Hirakata A:Retinal detachment associated with peripapillary staphyloma. the 9th Congress of Asia Pacific Vitreo-retina Sociey, Sydney , Australia, July 31-August 2, 2015.
- 54) Kita Y, Inoue M, Kita R, Sano M, Hirakata A:2 cases of intrachoroidal cavitation located beneath papillomacular bundle with full retinal layer defect. the 9th Congress of Asia Pacific Vitreo-retina Sociey, Sydney, Australia, July 31-August 2, 2015.
- 55) Sano M, Inoue M, Kita Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A: Peripheral vascular anomaly in eyes with retinal detachment and morning glory syndrome. The 9th Asia Pacific Vitreo-retina Society, Sydney, Australia, July 31-August 2, 2015.
- 56) Inoue M:APVRS Symposium 2015. Latest advancers in macular surgery. Intravitreal dyds for membrane peeling. APVRS, Sydney, Australia, July 31-August 2, 2015.
- 57) 北 善幸:緑内障に対する OCT 検査の有用性とその注意点. 千寿製薬社外講師勉強会, 2015 年 7 月.
- 58) 平形明人:症例から学ぶ眼底疾患アップデート 2015. 第 87 回筑後眼科研究会, 久留米市, 2015 年 8 月 1 日.
- 59) 井上真:27G 手術 実践と適応. 第 1 回埼玉網膜硝子体研究会, 埼玉, 2015 年 8 月 7 日.
- 60) 平形明人:von Hippel-Lindau 病に合併する血管腫の治療. 第 17 回 Japan Macula Club, 蒲郡, 2015 年 8 月 22 日-23 日.
- 61) 厚東 隆志:網膜静脈閉塞症の診断と治療. 参天製薬社内勉強会, 東京, 2015 年 8 月 27 日.

- 62) 井上真:RVO 治療アプデート. 日本視覚電気生理学会, 名古屋, 2015 年 8 月 29 日.
- 63) 平形明人:シナリオを作ろう. 網膜硝子体手術. Ochanomizu Ophthalmic Surgery Seminar, 東京, 2015 年 9 月 4 日.
- 64) 厚東 隆志:重さと in/out で考える硝子体手術. Ochanomizu Ophthalmic Surgery Seminar, 東京, 2015 年 9 月 4 日.
- 65) 井上真:Vitrectomy for DME. DME Sumitt meeting, 神戸, 2015 年 9 月 12 日.
- 66) 山田昌和:コンタクトレンズ 合併症や問題点のトピックス. 東京都眼科医会コンタクトレンズ管理者講習会, 東京, 2015 年 9 月 12 日.
- 67) 山田昌和:成人眼科検診における自治体の試み 現状と課題. シンポジウム, 第 26 回日本緑内障学会, 2015 年 9 月 13 日.
- 68) 厚東隆志:眼科手術の art と science～手術教育と手術理念～. 2015 年麻布高校教養総合講座, 東京, 2015 年 9 月 14 日.
- 69) Okada AA:Utility of OCT in Posterior Inflammatory Disease. Congress of the International Ocular Inflammation Society, Third International Assembly of Ocular Inflammation Societies, San Francisco, September 27, 2015.
- 70) Watanabe T, Keino H, Taki W, Nakayama M, Nakamura T, Okada AA:Clinical features of uveitis in children and adolescents at a tertiary center in Tokyo. Congress of the International Ocular Inflammation Society, Third International Assembly of Ocular Inflammation Societies, San Francisco, September 25–27, 2015.
- 71) Keino H, Watanabe T, Nakayama M, Nakamura T, Okada AA:Efficacy of infliximab for early remission induction in refractory uveoretinitis associated with Behcet's disease. Third International Assembly of Ocular Inflammation Societies, San Francisco, September 25–27, 2015.
- 72) 井上真:シンポジウム2眼科手術と眼光学「網膜硝子体手術」. 第 51 回日本眼光学学会総会, 2015 年 9 月 26 日–27 日.
- 73) 内田裕規, 堀江大介, 五月女典久, 稲見達也, 北 善幸, 山口靖子, 吉野啓, 平形明人:ぶどう膜炎による続発緑内障に対するトラベクロトミーの成績. 第 26 回日本緑内障学会, 名古屋市, 2015 年 9 月.
- 74) 平形明人: Treatment for retinal hemangiomas with von Hippel-Lindau disease. 硝子体手術講習会, 東京, 2015 年 10 月 3 日–4 日.
- 75) 井上真:27-gauge vitrectomy for diabetic retinopathy. Advanced Vitrectomy Surgery Course, 東京, 2015 年 10 月 3 日–4 日.
- 76) 井上真:MIVS for myopic traction maculopathy. Advanced Vitrectomy Surgery Course, 東京,

2015年10月3日-4日.

- 77) 山田昌和:コンタクトレンズとオキュラーサーフェス. 第25回青森眼科セミナー, 青森, 2015年10月3日.
- 78) 松木奈央子:飛蚊症、網膜剥離. 目の愛護デーTokyo Eye Festival, 東京, 2015年10月3日.
- 79) 厚東隆志:Duke Advanced Vitreous Surgery Course 2015 報告記. ビト研, 東京, 2015年10月9日.
- 80) 厚東 隆志:網膜静脈閉塞症の診断と治療. バイエル製薬社内勉強会, 東京, 2015年10月10日.
- 81) 井上真:第24回硝子体手術講習会の報告. 第17回信濃町網膜研究会, 東京, 2015年10月15日.
- 82) 平形明人:網膜分離様所見を呈する病変の手術.瀬戸内眼科コロシアム 2015, 岡山市, 2015年10月17日-18日.
- 83) 津田麻祐子, 中山真紀子, 慶野博, 渡辺交世, 岡田アナベルあやめ, 平形明人:サイトメガロウィルス網膜炎の発症を機にHIV陽性と診断された2症例. 第58回東京多摩地区眼科集談会, 三鷹市, 2015年10月17日
- 84) 井上 真:特別講演2「小切開硝子体手術の適応」. 第13回県尼眼科臨床フォーラム, 兵庫, 2015年10月17日.
- 85) 平形明人:網膜硝子体疾患で経験する硝子体腔とクモ膜腔との交流. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 86) 井上真:レチナ-ナイトメア.「溢れ出す怨霊」. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 87) 井上真:硝子体手術. 第69回日本臨床眼科学会 IC-54. 最新!糖尿病網膜症マネジメントのすべて-アップデートと症例検討会-. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 88) 井上真:「基本設定と黄斑疾患」 日本臨床眼科学会 IC-18 実践 27G 小切開硝子体手術. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 89) 厚東 隆志:Nd: YAGレーザーの硝子体内照射が眼内へ与える影響. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 90) 北善幸, 井上真, 北律子, 堀江大介, 佐野公彦, 平形明人:視神経乳頭周囲の網膜神経織維層厚と網膜全層厚測定の再現性の比較. 第69回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015年10月22日-25日.
- 91) 佐野公彦, 平形明人, 野村陽子, 北善幸, 井上真:乳頭ピットに伴う黄斑剥離の再手術例の

- 検討. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 22 日-25 日.
- 92) 満川忠宏, 佐野公彦, 横田怜二, 国田大輔, 井上真, 平形明人:網膜血管腫と栄養血管の凝固を併用する硝子体手術が奏効した VHL の一例. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 22 日-25 日.
- 93) 重安千花, 山田昌和, 阿久根陽子:TS-1 多施設スタディワーキンググループ. 抗腫瘍薬 TS-1 内服時の涙液中薬物濃度測定. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 22 日.
- 94) 山田昌和:研究デザインとエビデンスレベル. インストラクションコース:眼科医のための臨床疫学研究デザイン塾. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 22 日.
- 95) 中山真紀子, 山本亜希子, 慶野博, 渡辺交世, 中村友子, 真鍋歩, 岡田アナベルあやめ:点状脈絡膜内層症の臨床的特徴および予後. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 22 日.
- 96) 慶野博, 中山真紀子, 渡辺交世, 中村友子, 岡田アナベルあやめ:原田病初発例における中心窓下脈絡膜厚の長期経過. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 23 日.
- 97) 山田昌和, 阿久根陽子, 平塚義宗:成人眼科検診の予算影響分析. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 23 日.
- 98) 山田昌和:介護予防としての眼科医療の可能性. シンポジウム、医療提供システムの大転換:地域包括ケアにおける眼科の役割. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 23 日.
- 99) 山田昌和:弱視の疫学とスクリーニング. シンポジウム, 弱視診療のアップデート. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 23 日.
- 100) 古泉英貴, 山本亜希子, 小笠原雅, 板垣可奈子, 丸子一朗, 荒川久弥, 岡田アナベルあやめ, 石龍鉄樹, 飯田知弘:滲出型加齢黄斑変性に対するアフリベルセプト硝子体内注射の 2 年成績. 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 24 日.
- 101) 川島素子, 重安千花, 山田昌和, 横井則彦, 坪田一男:DECS-J 研究グループ. 眼科クリニックにおけるドライアイ受療患者の実態調査 (DECS-J). 第 69 回日本臨床眼科学会, 名古屋市, 2015 年 10 月 25 日.
- 102) Yamada M:DECS-J Preliminary Results. Asia Dry Eye Society Annual Meeting, Tokyo, October 31th, 2015.
- 103) Kita Y: Mystery case 4. 3th Fluorescein Conference in Tokyo, Nagoya, October, 2015.
- 104) 北 善幸:緑内障診療における OCT の活用法. 第 11 回多摩南部地域病院勉強会, 多摩, 2015 年 10 月.
- 105) Yamada M:Current trends in dry eye treatment in Japan. 114th Auual Meeting of

Korean Ophthalmological Society, Seoul, November 7th, 2015.

- 106) Okada AA:Keynote Lecture. Differential Diagnosis of Posterior Uveitis. Meeting with the Uveitis Expert. Taipei, Taiwan, November 11, 2015.
- 107) Hirakata A:Optic Pit Maculopathy Management. Section XVIII:Vitreoretinal Surgery, Part II. American Academy of Ophthalmology 2015, Las Vegas, USA, November 14th–17th, 2015.
- 108) Abouammoh MA, Alsulaiman SM, Gupta V, Hirakata A, Berrocal MH, Chenworth MK, Chhablani JK, Oshima Y, Al-Zamil W, Casella AM, Papa G, Banker AS, Arevalo JF:Pars plana vitrectomy with juxtapapillary laser photocoagulation (JLP) vs. vitrectomy without JLP for the treatment of optic disc pit maculopathy. American Academy of Ophthalmology 2015, Las Vegas, USA, November 14th–17th, 2015.
- 109) Inoue M, Koto T, Kita Y, Hirota K, Hirakata A:Fundus autofluorescence images in gas-filled eyes immediately after macular hole surgery. American Academy of Ophthalmology 2015, Las Vegas, USA, November 14th–17th, 2015.
- 110) 厚東 隆志:糖尿病網膜症の診断・治療 Up Date. 国分寺市医師会学術研修会・小金井市北多摩南部保健医療圏糖尿病医療連携講演会, 東京, 2015年11月17日.
- 111) Inoue M:Strategy to treat submacular hemorrhage. PCV summit, Beijing, November 21th–22th, 2015.
- 112) Okada AA:Keynote Lecture. Medical Education Systems in the US and Japan. Meeting with the Uveitis Expert, Taipei, Taiwan, November 27, 2015.
- 113) 井上真:シンポジウム 糖尿病眼合併症に対する低侵襲眼科手術.「増殖糖尿病網膜症への低侵襲小切開硝子体手術」. 第21回日本糖尿病眼学会総会, 名古屋市, 2015年11月27日.
- 114) Okada AA :Invited Symposium Lecture. Infliximab for vision-threatening Behcet's disease. 56th Annual Meeting of the Taiwan Ophthalmological Society, Taipei, Taiwan, November 28, 2015.
- 115) 山田昌和, 阿久根陽子, 平塙義宗:成人を対象とした眼疾患スクリーニングの予算影響分析. 第22回ヘルスリサーチフォーラム, 東京, 2015年11月28日.
- 116) Itoh Y, Kaiser PK, Singh RP, Srivastava SK, Ehlers JP: Quantitative characterization of ellipsoid zone alterations following intravitreal ocriplasmin. American Academy of Ophthalmology. Las Vegas, November, 2015.
- 117) 伊東 裕二:米国留学体験記～網膜画像診断～. 西東京眼科フォーラム, 東京, 2015年11月25日.

- 118) 山本亜希子, 岡田アナベルあやめ, 中山真紀子, 野村陽子, 小林宏明, 吉田ゆみ子: 近視性脈絡膜新生血管に対するラニビズマブ投与後1年後経過. 第54回日本網膜硝子体学会総会, 第32回日本眼循環学会総会合同学会, 東京, 2015年12月4日-6日.
- 119) 江本宜暢, 厚東隆志, 廣田和成, 伊東裕二, 井上真, 平形明人: 27ゲージと25ゲージ7500回転システムを用いた硝子体手術の比較. 第54回日本網膜硝子体学会総会, 東京, 2015年12月4日-6日.
- 120) 佐野公彦, 井上真, 北善幸, 伊東裕二, 廣田和成, 厚東隆志, 平形明人: 黄斑円孔に対するInverted ILM flap法併用硝子体手術後の円孔閉鎖過程の検討. 第54回日本網膜硝子体学会, 東京, 2015年12月4日-6日.
- 121) 北 善幸, 吉見拓人, 佐野公彦, 伊東裕二, 井上真, 平形明人: 眼内タンポナーデ物質の違いによる眼球変形能の検討. 第54回日本網膜硝子体学会, 東京, 2015年12月4日-6日.
- 122) 井上真: Medical vs Surgical Round 2. 第54回日本網膜硝子体学会, 東京, 2015年12月4日-6日.
- 123) 井上真: プレミアIOLと硝子体手術. AMO webカンファ, 2015年12月10日.
- 124) Inoue M: VIVID/VISTA clinical trials and current practices in DME treatment. Busan/Kyungnam POWER forum Busan, South Korea, December 11-12, 2015.
- 125) 伊東 裕二: 術中 OCT 付顕微鏡の有用性. 第1回 OCT 手術顕微鏡 RESCAN 700 フォーカスミーティング, 東京, 2015年12月.
- 126) 平形明人: 網膜分離様所見を呈する病変と対応. 福島眼科集談会, 福島市, 2016年1月11日.
- 127) Inoue M: Surgical treatment for myopic traction maculopathy. 6th Cairo Retina meeting, Cairo, Egypt, January 14-16, 2016.
- 128) Inoue M: Treatment for massive subretinal hemorrhage. 6th Cairo Retina meeting, Cairo, Egypt, January 14-16, 2016.
- 129) Inoue M: RETINAWS. 6th Cairo Retina meeting, Cairo, Egypt, January 14-16, 2016.
- 130) 平形明人: 眼球外傷. 平成26年度東京都眼科医会卒後研修会, 東京, 2016年1月16日.
- 131) 厚東 隆志: 慢性期 CRVO に対し硝子体手術が著効した一例. RVO expert seminar, 東京, 2016年1月16日.
- 132) 厚東 隆志: 27ゲージ硝子体手術、現在と展望. 第11回西東京市医師会眼科医会学術講演会, 東京, 2016年1月19日.
- 133) 井上真: iOCT guided MIVS. MIOS の会, 福岡, 2016年1月30日.

- 134) 北 善幸:術中 OCT (RESCAN 700) の使用経験. 第 12 回 Tokyo Glaucoma Retina joint conference, 東京, 2016 年 1 月.
- 135) Iida T, Koizumi H, Yamamoto A, Ogasawara M, Itagaki K, Maruko I, Arakawa H, Sekiryu T, Okada AA: Two-year outcomes of aflibcept therapy for neovascular AMD in Japan. World Ophthalmology Congress 2016, Guadalajara, February 5-9, 2016.
- 136) 井上真:RVO 治療アップデート. 第 2 回アイリーア黄斑疾患セミナー, 岡山, 2016 年 2 月 6 日.
- 137) プホアンビエトチ, 川島素子, 山田昌和, 重安千花, 横井則彦, 洲脇和久, 坪田一男: DECS-J 研究グループ. マイボーム腺機能不全がドライアイの重症度に及ぼす影響:DECS-J, 第 40 回日本角膜学会, 軽井沢, 2016 年 2 月 19 日.
- 138) 津田麻祐子, 重安千花, 二宮夕子, 藤井かんな, 山田昌和:抗悪性腫瘍剤カドサイラが原因と考えられた角膜上皮障害の 1 例, 第 40 回日本角膜学会, 軽井沢, 2016 年 2 月 19 日.
- 139) 安藤良将, 重安千花, 二宮夕子, 藤井かんな, 山田昌和:角膜内皮障害例に対する 0.4%リパスジル塩酸塩水和物点眼液の短期成績, 第 40 回日本角膜学会, 軽井沢, 2016 年 2 月 19 日.
- 140) 重安千花, 山田昌和, 川島素子, 洲脇和久, 横井則彦, 坪田一男:DECS-J 研究グループ. 眼科クリニックにおけるドライアイ受療患者の QOL と効用値(DECS-J), 第 40 回日本角膜学会, 軽井沢, 2016 年 2 月 20 日.
- 141) 山田昌和:ドライアイ診療パターンのトレンド、受療患者サーベイ (DECS-J) から, ドライアイ研究会講習会, 2016 年 2 月 21 日.
- 142) 井上真:小切開硝子体手術アップデート. 第 10 回東北眼科フォーラム, 仙台, 2016 年 2 月 20 日-21 日.
- 143) 井上真:小切開硝子体手術の展望. 第 58 回愛媛県眼科フォーラム, 松山市, 2016 年 2 月 27 日.
- 144) 山田昌和:コンタクトレンズとドライアイ. 第 27 回霧島眼科研鑽会, 都城, 2016 年 2 月 28 日.
- 145) 北 善幸:術中および外来診療における OCT の有用性. 興和創薬株式会社社内ゼミ, 東京, 2016 年 2 月.
- 146) 厚東 隆志:糖尿病網膜症の診断・治療 Up Date. 第 2 回多摩市医師会眼科部会学術講演会, 東京, 2016 年 3 月 2 日.
- 147) Inoue M:OPMI RESCAN 700 Cataract Application Surgery- intraoperative OCT -Enhanced Precision in Cataract Surgery, Bangkok, Thailand, March 5-6, 2016.

- 148) 厚東 隆志:27 ゲージ硝子体手術の現在と可能性. 第 2 回城西武蔵野眼科講演会, 東京, 2016 年 3 月 9 日.
- 149) 山田昌和:緑内障とオキュラーサーフェス. 第 49 回東京緑内障談話会, 東京, 2016 年 3 月 12 日.
- 150) 井上真:MIVS を使いこなそう- Trouble shooting and cutting edge -. 第 5 回 State of Art 眼科研究会, 東京, 2016 年 3 月 14 日.
- 151) 井上真:術中 OCT を使ってみました!. 第 18 回信濃町網膜研究会, 東京, 2016 年 3 月 18 日.
- 152) Inoue M, Koto T, Hirakata A. Ultra-widefield fundus imaging in gas-filled eyes after vitrectomy. APAO, Taipei, Taiwan, March25-27, 2016.
- 153) Sano M, Inoue M, Itoh Y, Kita Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A:Efficacy of optical tomography-based face-down positioning for the macular hole surgery. APAO, Taipei, March 25-27, 2016.
- 154) Orihara T, Inoue M, Itoh Y, Koto T, Hirota K, Hirakata A:Clinical characteristics of rhegmatogenous retinal detachment in highly myopic eyes. APAO (2016/3/25-27), Taipei, March 25-27, 2016.
- 155) Itoh Y, Kaiser PK, Singh RP, Srivastava SK, Ehlers JP: Intraoperative optical coherence tomographic factors associated with macular hole closure following vitrectomy. APAO, Taipei, March 25-27, 2016.
- 156) 北 善幸:緑内障診療における OCT の活用法. 日本アルコン社内講演会, 2016 年 3 月.

2.論文

- 1) Hirota K, Keino H, Inoue M, Ishida H, Hirakata A: Comparisons of microRNA expression profiles in vitreous humor between eyes with macular hole and eyes with proliferative diabetic retinopathy. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 253: 335-42, 2015.
- 2) Yokota R, Koto T, Inoue M, Hirakata A: Ultra-wide-field retinal images in an eye with a small-aperture corneal inlay. J Cataract Refract Surg 41:234-6, 2015.
- 3) Inoue M, Shiraga F, Shirakata Y, Morizane Y, Kimura S, Hirakata A: Subretinal injection of recombinant tissue plasminogen activator for submacular hemorrhage associated with ruptured retinal arterial macroaneurysm. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 253:1663-9, 2015.
- 4) Hirota K, Itoh Y, Rii T, Inoue M, Hirakata A: Correlation between foveal interdigitation zone

- band defect and visual acuity after surgery for macular pseudohole. *Retina*. 35:908–14, 2015.
- 5) Matsumoto-Otake A, Hirota K, Koto T, Inoue M, Hirakata A: Thickened retinal ganglion cell complex in patient with severe Takayasu retinopathy at early stage. *Retin Cases Brief Rep* 9:41–4, 2015.
 - 6) Rii T, Itoh Y, Inoue M, Hirota K, Hirakata A: Authors' reply. *Can J Ophthalmol* 50: 180, 2015.
 - 7) Suzuki T, Ohashi Y, Oshika T, Goto H, Hirakata A, Fukushita K, Miyata K; Japanese Ophthalmological Society HOYA Intraocular Lens–Related Endophthalmitis Investigation Commission: Outbreak of Late-onset Toxic Anterior Segment Syndrome After Implantation of One-piece Intraocular Lenses. *Am J Ophthalmol* 159: 934–939.e2, 2015.
 - 8) Ando Y, Inoue M, Ohno-Matsui K, Kusumi Y, Iida T, Hirakata A: Macular detachment associated with intrachoroidal cavitation in nonpathological myopic eyes. *Retina* 35:1943–50, 2015.
 - 9) Inoue M, Itoh Y, Rii T, Kita Y, Hirota K, Kunita D, Hirakata A. Macular retinoschisis associated with glaucomatous optic neuropathy in eyes with normal intraocular pressure. *Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol* 253:1447–56, 2015.
 - 10) Yokota R, Inoue M, Itoh Y, Rii T¹, Hirota K, Hirakata A(¹Department of ophthalmology, Shin Long Wu Ho-Su Memorial Hospital, Taipei, Taiwan): Comparison of microincision vitrectomy and conventional 20-gauge vitrectomy for severe proliferative diabetic retinopathy. *Jpn J Ophthalmol* 59: 288–94,2015.
 - 11) 長堀克哉, 内田翔子, 井上真, 廣田和成, 平形明人:医学部眼科臨床実習で無症候性網膜剥離が発見された2症例. *眼科* 57:1159–62, 2015.
 - 12) Suzuki T¹, Ohashi Y¹, Oshika T², Goto H³, Hirakata A, Fukushita K⁴, Miyata K⁵ (¹Department of Ophthalmology, Ehime University, Graduate School of Medicine, Ehime, Japan.²Department of Ophthalmology, Faculty of Medicine, University of Tsukuba, Tsukuba, Japan.³Department of Ophthalmology, Tokyo Medical University, Tokyo, Japan.⁴Karasuyama Eye Clinic, Tokyo, Japan.⁵Miyata Eye Hospital, Miyazaki, Japan.): Reply: To PMID 25637181. *Am J Ophthalmol* 160:209, 2015.
 - 13) Uchida A¹, Inoue M, Bissen-Miyajima H², Hirakata A(¹Department of Ophthalmology, Keio University School of Medicine, Tokyo, Japan. ²Department of Ophthalmology, Tokyo Dental College Suidobashi Hospital, Tokyo, Japan.): Dynamic changes of optical aberrations during restoration of optical properties of hydrophobic acrylic intraocular lens ejected through cartridge. *Br J Ophthalmol* 99:1143–8,2015.
 - 14) 肥留川京子, 慶野博, 渡邊交世, 瀧和歌子, 平形明人, 岡田アナベルあやめ:網膜動静脈閉

塞症に対してステロイドパルス療法が奏効したSLE網膜症の1例(原著論文/症例報告).あたらしい眼科 32:904-908, 2015.

- 15) Yokota R, Inoue M, Itoh Y, Rii T, Hirota K, Hirakata A: Erratum to: Comparison of microincision vitrectomy and conventional 20-gauge vitrectomy for severe proliferative diabetic retinopathy. Jpn J Ophthalmol 59:436,2015.
- 16) Matsuki N, Inoue M, Itoh Y, Nagamoto T¹, Hirakata A (¹Nagamoto Eye Clinic): Changes in higher-order aberrations of intraocular lenses with intrascleral fixation. Br J Ophthalmol 99:1732-8,2015.
- 17) Kita Y, Holló G¹, Kita R, Horie D, Inoue M, Hirakata A (¹Department of Ophthalmology, Semmelweis University, Budapest, Hungary): Differences of Intrasession Reproducibility of Circumpapillary Total Retinal Thickness and Circumpapillary Retinal Nerve Fiber Layer Thickness Measurements Made with the RS-3000 Optical Coherence Tomograph. PLoS One10:e0144721,2015.
- 18) 折原唯史, 廣田和成, 横田怜二, 国田大輔, 伊東裕二, 利井東昇, 厚東隆志, 平岡智之, 井上真, 平形明人:アトピー性皮膚炎と鈍的外傷に伴う網膜剥離の比較検討. 日眼会誌 119: 457-463, 2015.
- 19) 慶野博, 渡辺交世, 首藤紘一, 北岡康史, 原田高幸, 岡田アナベルあやめ:学会トピックス 第52回日本神経眼科学会総会 レチノイン酸による実験的自己免疫性視神経炎の軽症化. 日本眼科学会雑誌 119:304-3-5, 2015.
- 20) Sano M, Inoue M, Itoh Y, Hirota K, Koto T, Hirakata A: Efficacy of higher cutting rates during microincision vitrectomy for proliferative diabetic retinopathy. Eur J Ophthalmol. 2015 Dec 17:0. doi: 10.5301/ejo.5000721. [Epub ahead of print]
- 21) Inokawa S, Watanabe T, Keino H, Sato Y, Hirakata A, Okada AA, Fukuda K, Fukushima A, Umezawa K: Dehydroxymethylepoxyquinomicin, a novel nuclear factor- κ B inhibitor, reduces chemokines and adhesion molecular expression induced by IL-1 β in human corneal fibroblasts. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 253:557-583, 2015.
- 22) Koizumi H, Kano M, Yamamoto A, Saito M, Maruko I, Kawasaki R, Sekiryu T, Okada AA, Iida T. Short-term changes in choroidal thickness after aflibercept therapy for neovascular age-related macular degeneration. Am J Ophthalmol 159:627-633, 2015.
- 23) Koizumi H, Yamamoto A, Maruko I, Okada AA, Iida T, Kano M, Saito M, Sekiryu T, Kawasaki R. Reply regarding "Short-term changes in choroidal thickness after aflibercept therapy for neovascular age-related macular degeneration" Am J Ophthalmol 160:207-208, 2015.
- 24) Keino H, Okada AA, Watanabe T, Echizen N, Inoue M, Takayama N, Nagane M :

- Spectral-domain optical coherence tomography pattern in eyes with intraocular lymphoma. Ocular Immunol Inflamm 24:1–6, 2015.
- 25) Koizumi H, Kano M, Yamamoto A, Saito M, Maruko I, Sekiryu T, Okada AA, Iida H. Aflibercept therapy for polypoidal choroidal vasculopathy: short-term results of a multicenter study. Br J Ophthalmol 99:1284–1288, 2015.
- 26) Yamamoto A, Okada AA, Kano M, Koizumi H, Saito M, Maruko I, Sekiryu T, Iida T:One-year results of intravitreal aflibercept for polypoidal choroidal vasculopathy. Ophthalmology 122:1866–1872, 2015.
- 27) Denniston AK, Holland GN, Kidess A, Nussenblatt RB, Okada AA, Rosenbaum JT, Dick AD: Heterogeneity of primary outcome measures used in clinical trials of treatment for intermediate, posterior and panuveitis. Orphanet J Rare Dis 10:97, 2015.
- 28) Otake-Matsumoto A, Keino H, Koto T, Okada AA:Spectral domain and swept source optical coherence tomography in acute retinal necrosis. Graefes Arch Clin Exp Ophthalmol 253:2049–2051, 2015.
- 29) Keino H, Watanabe T, Sato Y, Shudo K, Kitaoka Y, Harada T, Okada AA. Retinoic acid receptor stimulation ameliorates experimental autoimmune optic neuritis. Clin Experiment Ophthalmol 43:558–567, 2015.
- 30) 岡田アナベルあやめ, 石橋達朗:抗 VEGF 薬による治療. あたらしい眼科 2015;32(8) : 1067–1068.2015.
- 31) Watanabe T, Okada AA. [Uveitis] Bunshi Ryumachi Chiryo (Molecular Rheumatology and Therapy) 8:32–35, 2015.
- 32) 岸章治, 岡田アナベルあやめ, 横山利幸, 山田昌和, 前田利根:抗VEGF剤を取り巻く最近の情勢. 日本の眼科 86(8) :1137–1151. 2015.
- 33) Shigeyasu C, Hirano S, Akune Y, Yamada M. Diquafosol tetrasodium increases the concentration of mucin-like substances in tears of healthy human subjects. Curr Eye Res, Curr Eye Res 2015. 40:878–83.2015.
- 34) 平塚義宗, 小野浩一, 中野匡, 田村寛, 後藤勲, 川崎良, 川島素子, 山田昌和:「成人を対象とした眼検診」研究班中間報告書. 日本の眼科 2015;86:984–1007.2015.
- 35) Tamura H, Goto R, Akune Y, Hiratsuka Y, Hiragi S, Yamada M. The Clinical Effectiveness and Cost-Effectiveness of Screening for Age-Related Macular Degeneration in Japan: A Markov Modeling Study. PLoS One. 2015;10:e0133628.
- 36) Shigeyasu C, Yamada M, Akune Y, Tsubota K. Diquafosol sodium ophthalmic solution for the treatment of dry eye: clinical evaluation and biochemical analysis of tear composition. Jpn J

Ophthalmol. 2015;59:415–20.

- 37) Nakamura N, Akiyama K, Shigeyasu C, Yamada M. Surgical repair of orbital fat prolapse by conjunctival fixation to the sclera. Clin Ophthalmol. 2015;9:1741–4.
- 38) 横井則彦, 堀裕一, 山田昌和, 田聖花, 山口昌彦:非観血的治療に抵抗する挙筋短縮術後の上輪部角結膜炎類似病変に対する治療. 眼科手術 28:397–402, 2015.
- 39) 山田昌和:炎症性疾患としてのドライアイ. 別冊 BIO Clinica 4:20–25, 2015.
- 40) 山田昌和:涙液から考えるドライアイ. Oculista 31:15–19, 2015.
- 41) 秋山陽一, 鈴木由美, 吉川泉, 浜由紀子, 富田香, 成田圭吾, 尾崎峰. 山田昌和 :巨大眼瞼部乳児血管腫を伴い不同視弱視治療を要した乳児例. 眼科臨床紀要 (in press), 2015.
- 42) 渡邊交世:虹彩毛様体炎の臨床, 糖尿病虹彩炎. 眼科 57:809–813, 2015.
- 43) Abouammoh MA¹, Alsulaiman SM², Gupta VS³, Mousa A¹, Hirakata A, Berrocal MH⁴, Chenworth M⁴, Chhablani J⁵, Oshima Y⁶, AlZamil WM⁷, Casella AM⁸, Papa-Oliva G⁹, Bunker AS¹⁰, Arevalo JF¹¹; King Khaled Eye Specialist Hospital International Collaborative Retina Study Group. (¹Department of Ophthalmology, College of Medicine, King Saud University, Riyadh, Saudi Arabia.²Vitreoretinal Division, King Khaled Eye Specialist Hospital, Riyadh, Saudi Arabia.³Vitreoretinal Division, King Khaled Eye Specialist Hospital, Riyadh, Saudi Arabia Department of Ophthalmology, Advanced Eye Center, Postgraduate Institute of Medical Education and Research, Chandigarh, India.⁴Department of Ophthalmology, University of Puerto Rico, San Juan, Puerto Rico.⁵Smt. Kanuri Santhamma Retina Vitreous Centre, L.V. Prasad Eye Institute, Hyderabad, India.⁶Vitreoretina & Cataract Surgery Center, Oshima Eye Clinic, Osaka, Japan.⁷King Fahad Hospital of the University, Khobar, Saudi Arabia.⁸Ophthalmology Department, Universidade Estadual de Londrina, Londrina, Brazil.⁹Centro Oftalmologico IUMO, Caracas, Venezuela Department of Ophthalmology, Hospital Miguel Perez Carreno– IVSS, Caracas, Venezuela.¹⁰Banker's Retina Clinic and Laser Centre, Gujarat, India.¹¹Vitreoretinal Division, King Khaled Eye Specialist Hospital, Riyadh, Saudi Arabia Retina Division, Wilmer Eye Institute, Johns Hopkins University School of Medicine, Baltimore, Maryland, USA.): Pars plana vitrectomy with juxtapapillary laser photocoagulation versus vitrectomy without juxtapapillary laser photocoagulation for the treatment of optic disc pit maculopathy: the results of the KKESH International Collaborative Retina Study Group. Br J Ophthalmol 100:478–483, 2016.
- 44) 久須見 有美, 佐野 公彦, 中山 真紀子, 厚東 隆志, 井上 真, 山本 実, 平形 明人:非散瞳下超広角眼底撮影を用いた人間ドック健診の有用性. 日眼会誌. 120:35–40, 2016.
- 45) Nakanishi A, Ueno S, Hayashi T, Katagiri S, Kominami T, Ito Y, Gekka T, Masuda Y, Tsuneoka

- H, Shinoda K, Hirakata A, Inoue M, Fujinami K, Tsunoda K, Iwata T, Terasaki H: Clinical and genetic findings of autosomal recessive bestrophinopathy in Japanese cohort. *Am J Ophthalmol.* 2016 [Epub ahead of print]
- 46) Endo H, Ishii H, Tsuchiya H, Takahashi Y, Inaba Y, Nishino Y, Hirakata A, Kubota H: Observations of retinal vessels during intermittent pressure-augmented retrograde cerebral perfusion in clinical cases. *Interact Cardiovasc Thorac Surg.* 2016 [Epub ahead of print]
- 47) Okada AA, Yamamoto A, Koizumi H, Kano M, Saito M, Maruko I, Sekiryu T, Iida T: Author Reply regarding “One-year results of intravitreal afibercept for polypoidal choroidal vasculopathy.” *Ophthalmology* 123:e13–e14, 2016.
- 48) Watanabe T, Keino H, Sato Y, Kudo A, Okada AA: MicroRNAs in retina during development of experimental autoimmune uveoretinitis in rats. *Br J Ophthalmol* 100:425–431, 2016.
- 49) Koizumi H, Kano M, Yamamoto A, Saito M, Maruko I, Sekiryu T, Okada AA, Iida T: Subfoveal choroidal thickness during afibercept therapy for neovascular age-related macular degeneration: 12-month results. *Ophthalmology* 123:617–624, 2016.
- 50) Fukui M, Yamada M, Akune Y, Shigeyasu C, Tsubota K. Fluorophotometric Analysis of the Ocular Surface Glycocalyx in Soft Contact Lens Wearers. *Curr Eye Res* 2016;41:9–14.
- 51) Kawashima M, Hiratsuka Y, Nakano T, Tamura H, Ono K, Murakami A, Inoue S, Tsubota K, Yamada M. The association between legal Japanese visual impairment grades and vision related quality of life. *Jpn J Ophthalmol.* 2016;60:219–225.
- 52) Tano T, Ono K, Hiratsuka Y, Otani K, Sekiguchi M, Konno S, Kikuchi S, Onishi Y, Takegami M, Yamada M, Fukuhara S, Murakami A. Retinal vessel diameters in a Japanese population: the Locomotive Syndrome and Health Outcome in Aizu Cohort Study (LOHAS). *Acta Ophthalmol.* 2016 Jan 25. [Epub ahead of print]
- 53) 山田昌和:眼瞼下垂・眼球運動障害. *medicina* 53(増刊): 170–173, 2016.
- 54) Inoue M: Retinal complications associated with congenital optic disc anomalies determined by swept source optical coherence tomography. *Taiwan Journal of Ophthalmology* 2016; 6(1), 8–14.
- 55) Itoh Y, Vasanji A, Ehlers JP: Volumetric ellipsoid zone mapping for enhanced visualisation of outer retinal integrity with optical coherence tomography. *Br J Ophthalmol.* 2016 Mar;100(3):295–9.
- 56) Itoh Y, Levison AL, Kaiser PK, Srivastava SK, Singh RP, Ehlers JP: Prevalence and characteristics of hyporeflective preretinal tissue in vitreomacular interface disorders. *Br J Ophthalmol.* 2016 Mar;100(3):399–404.

- 57) Itoh Y, Srivastava SK, Ehlers JP: Spectral domain optical coherence tomography analysis with visualization of ellipsoid zone and volumetric assessment. RETINA, 2016 Mar; In Press.
- 58) Kita Y, Holló G, Kita R: Can diagnostic accuracy for early glaucoma be improved in Japanese? A trial with a potential new parameter of the RTVue OCT. Journal for Modeling in Ophthalmology. 1: 21–36, 2016.
- 59) Kita Y, Anraku A, Kita R, Goldberg I: The clinical utility of measuring the macular outer retinal thickness in patients with glaucoma. European Journal of Ophthalmology. 26 (2): 118–123, 2016.
- 60) 渡邊交世, 慶野博:眼の細菌感染, 結核性眼炎症疾患. 眼科 58:143–150, 2016.
- 61) 江本宜暢, 堀田一樹:アマンタジンの服用中断後にも角膜内皮細胞減少が持続した 1 例. 眼臨紀 9(3):225–229, 2016.

3. 著書

- 1) 平形明人:Reticular Pseudodrusen, 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真, 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. p82–83.
- 2) 平形明人:外傷性黄斑円孔. 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真, 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. p82–83
- 3) 平形明人:視神経乳頭ピットに伴う網膜剥離. 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真, 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. 166–169.
- 4) 平形明人:朝顔症候群に伴う網膜剥離. 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真, 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. p 170–173.
- 5) 平形明人:眼科健康診断(眼底検査)での超広角眼底撮影の利用. 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真, 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. p 206–207.
- 6) 廣田和成, 平形明人:視神経乳頭異常 (I. 視神経乳頭ピット, II. 朝顔症候群, III. 乳頭コロボーマ). 寺崎浩子, 吉村長久編集. 眼科臨床エキスパート 網膜剥離と極小切開硝子体手術. 寺崎浩子, 吉村長久編集. 東京, 医学書院, 2015. p 207–210.
- 7) 厚東隆志, 平形明人:近視性牽引黄斑症 治療／硝子体手術(総論). 専門医のための眼科診療クオリファイ 28 近視の病態とマネジメント. 大野京子総集. 東京, 中山書店, 2015. p 225–230.
- 8) 平形明人:乳頭ピット黄斑症候群. 一目でわかる眼疾患の見分け方 ぶどう膜疾患、網膜・硝子体疾患. 井上幸次, 山本哲也, 大路正人、門之園一明編集. 東京, メジカルビュー, 2015. p 146–147.

- 9) 山田昌和:再発性上皮びらん. 眼科開業医のための診療・連携ポイント30. 松元俊, 吉川啓司編集. 診断と治療社, 2015. p60-63.
- 10) 山田昌和:角結膜デルモイド. 知っておきたい眼腫瘍診療. 大島浩一, 後藤浩編集. 医学書院, 2015. p423-426.
- 11) 平形明人:画像検査と網膜剥離. どう診てどう治す? 網膜剥離. 平形明人, 井上真編集. 東京, メジカルビュー, 2016. p2-17 ,
- 12) 平形明人:強膜バックリング手術. どう診てどう治す? 網膜剥離. 平形明人, 井上真編集. 東京, メジカルビュー, 2016. p31-44.
- 13) 平形明人:Coats 病に合併する滲出性網膜剥離. どう診てどう治す? 網膜剥離. 平形明人, 井上真編集. 東京, メジカルビュー, 2016. p236-241.
- 14) Okada AA. Posterior Uveitis. In: Uveitis, M Zierhut, C Pavesio, S Ohno, F Orefice, N Rao (eds.), Springer, Berlin 2016.
- 15) 山田昌和:薬剤毒性角膜症. 眼科疾患最新の治療 2016-2018. 大橋裕一, 白神史雄, 村上晶編集. 南江堂, 2016. p121.
- 16) 山田昌和:先天性角膜混濁. 一目でわかる眼疾患の見分け方 上巻. 角結膜疾患、緑内障. 井上幸次, 山本哲也, 大路正人, 門之園一明編集. 東京, メジカルビュー, 2016. p2-4.
- 17) 山田昌和:角膜ジストロフィ、角膜変性. 角結膜疾患の治療戦略. 島崎潤編集. 医学書院, 2016. p297-308.
- 18) 井上真:小切開硝子体手術(MIVS). どう見て直す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. p52-66.
- 19) 井上真:黄斑裂孔による網膜剥離. どう見て直す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. p173-176.
- 20) 井上真:治療戦略のパターン. どう見て直す? 網膜剥離網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. p25-30.
- 21) 井上真:鈍的外傷-網膜震盪症(Berlin 混濁)一目でわかる眼疾患の見分け方・ぶどう膜疾患、網膜硝子体疾患. 東京, メジカルビュー, 2016. p149-150.
- 22) 井上真:硝子体出血一目でわかる眼疾患の見分け方・ぶどう膜疾患、網膜硝子体疾患. 東京, メジカルビュー, 2016. p151-152.
- 23) 井上真:脈絡膜破裂による続発性血管新生黄斑症一目でわかる眼疾患の見分け方・ぶどう膜疾患、網膜硝子体疾患. 東京, メジカルビュー, 2016. p153-154.
- 24) 渡邊交世:梅毒、結核. 眼科疾患 最新の治療 2016-2018. 大橋裕一, 白神史雄, 村上晶編集. 東京, 南江堂, 2016. P253-254.
- 25) 厚東隆志:黄斑円孔網膜剥離, 超広角でみる眼底病変診断. 平形明人, 大路正人, 井上真,

- 瓶井資弘編集. 東京, メジカルビュー, 2015. P160-165.
- 26) 厚東隆志:眼内タンポナーデ物質の選択. どう見て直す? 網膜剥離, 東京, メジカルビュー, 2016. p72-77.
- 27) 江本宜暢:上方弁状裂孔による網膜剥離(その 2). どう診てどう治す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. 134-136.
- 28) 江本宜暢:高度近視眼に合併する遊離網膜弁を伴った裂孔による網膜剥離. どう診てどう治す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. 144-146.
- 29) 井上真:シンポジウム1「糖尿病眼合併症に対する低侵襲眼科手術」日本糖尿病眼科学会誌, 2016. 126.
- 30) 井上真:わかりやすい臨床講座. 強度近視に伴う近視性牽引性黄斑症と黄斑円孔網膜剥離の病態と治療. 日本の眼科 87(1):2016. 35-38.
- 31) 井上真:糖尿病網膜症の硝子体手術. 眼科ケア 18(2):2016.68-69,
- 32) 井上真:裂孔原性網膜剥離 バックリング vs.ビトレクトミー(特集 議論の多い眼治療: 建前と本音). 眼科 58(1), 2016.25-30.
- 33) 厚東隆志, 野村陽子:下方弁状裂孔による網膜剥離. どう見て直す? 網膜剥離, 東京, メジカルビュー, 2016. P137-143.
- 34) 厚東隆志:後極裂孔による網膜剥離(その 2). どう見て直す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. P179-183.
- 35) 厚東 隆志:巨大裂孔網膜剥離(LASIK 眼). どう見て直す? 網膜剥離. 東京, メジカルビュー, 2016. P191-194.

4.特許等知的財産関係、報告書

- 1) 山田昌和(分担研究者):平成 26 年度厚生労働省科学研究費補助金(難治性疾患政策研究事業)、希少難治性角膜疾患の疫学調査 (H26-難治等(難)-一般-072)報告書、2015 年 5 月
- 2) 慶野博:平成 26 年度文部科学省科学研究費補助金 基盤研究 C

5.その他

- 1) 井上真:第 3 回 Pfizer ビデオアワード シルバー 受賞
- 2) 山田昌和. 公的眼科検診導入への動きが活発化. Medical Tribune 2015 年 5 月 14 日号
- 3) 山田昌和. 眼科検査の完全ガイド. 週刊朝日 MOOK、眼のいい病院、老眼&眼の病気完全ガイド pp18-23、2016 年 3 月

4) 山田昌和. 若いから白内障にならないは大きな勘違い. 日刊ゲンダイ 2015年3月31日号